
地域の取り組み・課題集

～ きずなづくりトークのまとめ ～

東小学校区編

—改訂版—



平成 27 年 3 月

三島市

凡例（各意見に印をつけて、いつ出された意見かわかるようにしています）

△：H23.06.03 テーマ「1 地域の防災力向上と被災時の対応」
「2 高齢者から子どもまで多世代の交流による活性化」

▲：H23.10.12 テーマ「1 地域の防災力向上と絆づくり～前会の議論を受けて～」
「2 ごみ問題と美しい地域づくり」

○：H24.06.05 テーマ「みんなでふれあい創出」

●：H24.11.15 テーマ「地域の防災力～みんなで何ができるか考えよう～」

◇：H25.05.21 テーマ「子どもの健全育成と高齢者が安心できる地域づくりについて」

◆：H25.10.07 テーマ「子どもの健全育成と高齢者が安心できる地域づくりについて」

□：H26.05.20 テーマ「防災訓練」「子どもの健全育成」「高齢者の見守り」

■：H26.10.02 過去の意見等を参考に関心の高いテーマに絞り、話し合いをしました。
テーマ「地域行事に新たな参加者を増やす方法を考えよう」(P6-7 掲載)

◎：市の意見・回答
⇒：課題解決に向けた取り組み事例

(※担い手略称 自：自治(町)内会、民：民生委員、子：子ども会、体振：体育振興会、老：老人会、ス：スポーツ推進委員)

	課題	担い手
防災訓練	<p>①住民の参加促進と訓練内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ●町内の8割がアパートだが、参加者は持家の方が多い。アパート住民の参加方法を考えたい。(雪沢) □だいたい来る方は毎年同じ。皆が参加したくなるようなアイデアがない。人が集まる工夫を知りたい。 →【■テーマ別会議(P6-7)に発展】 ◆訓練の参加者増加が課題。(雪沢、南二日町) ●係が分かる腕章と「黄色いハンカチ」を来年購入し活用したい。 ⇒●平日昼、家にいる可能性の高い主婦対象に可搬ポンプの練習実施。(雪沢) ⇒●各1次避難所に女性リーダーを配置。安否確認実施。(大宮町2丁目) ⇒●各組で避難路を確認し問題点を把握。防災意識向上を図った(東本町2丁目) ⇒●役員が事前講習を受講し、参加者を指導。(日の出町) ⇒□賞味期限の近い備蓄品で試食会を実施。好評だった。 ●中学生以上は水消火器をやりたいがらない。訓練のゲーム形式も考え小中学生の参加を促したい。(日の出町) ⇒●事前に子どもに参加を呼びかけ参加者増加。(大社町) ●学校外で災害が発生した場合の対応を考える必要がある。 ●中学生の父親の多くが子どもの避難場所を知らない。父親の防災意識向上が必要。 ●乳幼児のいる家庭は災害時の行動把握ができていないか疑問。 ●乳幼児連れだと子どもの世話をする場所がなく訓練に参加しにくい。訓練時から乳幼児家庭への配慮が必要。 	<p>自</p> <p>自</p> <p>自</p> <p>自</p> <p>自</p> <p>自</p> <p>自</p>

	課題	担い手
②災害への備えと体制強化	<p>○救命講習を受けて AED 等を使えるようにしてほしい。自分たちのことは自分たちで守る意識が大事。</p> <p>○防災設備は使わないと使えるようにならず、さびついて駄目になってしまう。動かすことが大事。(消防団)</p> <p>●防災委員長の再任等で効率良く運営したい。</p> <p>●防災より減災。自助・共助・公助が大事。</p> <p>●年1回家族写真を携帯に保存しておくこと震災後に家族を探すとき役立つ。またライトストラップなどグッズを活用するといいい。</p> <p>◇各自治会単位の訓練はそれぞれ計画している。話し合いが必要。</p> <p>□防災委員と町内を見回るシステムを取り入れるといいのではないか。</p> <p>⇒□専任防災委員(任期3～5年)システムを構築。(東本町1丁目)</p>	<p>校区全体</p> <p>自 校区全体</p> <p>自</p>
③要援護者の支援	<p>○自治会と民生委員で日頃から話し合い、災害時の対策を考えたい。</p> <p>○要援護者のリストをどう扱い活用するかが課題。</p> <p>●実際、要援護者をどう対応すればよいかわからない。</p> <p>●足腰が悪い要援護者が訓練に参加できるような対策が必要。</p> <p>⇒●訓練中に防災委員が高齢者を訪問、声かけを実施。水を提供。(大社町)</p> <p>⇒●平日昼の在宅者調査、自治会員の家族調査を実施。(日の出町)</p> <p>●笛をもっと吹きやすくなるよう改良できないか。</p>	<p>自・民</p> <p>自 自 自</p>
④学校と地域の連携	<p>●中学生が一番戦力になる。もっと中学生に協力してもらいたい。</p> <p>●地域の役割を担える中学生を育てていかななくてはならない。</p> <p>○参加した中学生にはポンプや消火器の使い方を教えてほしい。</p> <p>⇒●今年は参加証を配布し町内の方のサインをもらい学校へ報告する取り組みを実施。(南中)</p> <p>⇒◆訓練に中学生が初めて3名参加。参加証明書は効果的(雪沢)</p> <p>◆訓練参加証明書など地域貢献を認めるご褒美的なものも必要。</p> <p>▲東小を避難場所にするのならバリアフリーの整備をするべき。</p> <p>●◇◆全市内、同日防災訓練実施だと中学生も参加しやすい。最初は小学校区単位で訓練日を揃えるよう検討してほしい。(南中)</p> <p>◆各自治会にスケジュール調整役を置くといいい。</p> <p>◇防災フェスティバルに自治会役員も参加してほしい。(東小)</p> <p>⇒◆東小で防災フェスティバル実施。各小学校から児童多数参加。</p> <p>◆□合同防災訓練に楽しみながら取り組めば、かなりの子ども達が参加するのではないか。高齢者との触れ合いも交えていくと、面白いイベントになる。</p> <p>⇒●隣接している幼・小・中学校で引取り訓練を実施。</p> <p>⇒●年1回中学生が園の訓練に参加し、園児を避難誘導する。</p> <p>▲園児の避難は大変。災害時パニックに陥った幼稚園児をどうまとめていくのか。(東幼稚園)</p> <p>●親が引取りに来られなかった時に備え学校での宿泊体制が必要。</p>	<p>中</p> <p>自 中</p> <p>校区全体</p> <p>自 小</p> <p>校区全体</p> <p>幼・小・中</p>

	課題	担い手	
子どもの健全育成	①地域活動への参加促進	<p>◆広い枠組みで子どもが参加できるサークル等があればいい。</p> <p>◆子ども数は少なく正確な人数もつかめていない。町内の子どもの名簿がほしい。</p> <p>◆子ども会や学校の協力を得て子どもが楽しめる行事を考える。</p> <p>◇ドッチボール大会では町内合同チームを作ってもいいのではないかな。自治会長や子ども会会長達と色々知恵を出し合ってほしい。</p> <p>⇒◇子ども数減少のため他町内と合同チームを結成し、ドッチボール大会出場。</p> <p>⇒◆校区祭で初めて2町合同チームによるリレー実施。</p> <p>◆各町内単位の優勝争いも見直すべきかもしれない。</p> <p>◆一日かかる行事はやめて半日で終われば参加しやすくなる。</p> <p>◆幼稚園や小学校からもイベント参加を呼びかけてほしい。</p> <p>⇒◆楽寿園で親子イベント実施。他町からも多数参加。</p> <p>□日常的な地域との関わりを中学生レベルでどうするかが大事。</p>	<p>校区全体 自 各団体 自・子</p> <p>体振・ス</p> <p>健全育成会 自</p>
	②学校と地域の連携	<p>◇子どもが地域行事に参加したらほめてあげてほしい。</p> <p>◆中学生のボランティア活動も活発化させていきたい。(南中)</p> <p>◆園児と地域の子どもがふれあう機会が多くあるといい。</p> <p>○南中おやじの会・MLSの再構築に取り組んでいきたい。</p> <p>○小学校で体を動かすイベント開催を校長たちと協議中。(東小 PTA)</p> <p>◆中高生が行事に参加しやすい環境を整えることが大事。</p>	<p>校区全体 中</p> <p>小 PTA</p>
	③挨拶の促進	<p>○散歩中に子どもに声かけすると不審者だと思われる。対策が必要。</p> <p>○声をかけられる雰囲気作りは継続しないとなくなってしまう。</p> <p>⇒○南中は県からあいさつ運動推進校として認定された。</p> <p>⇒○PTA が毎週当番制で挨拶運動実施。学校便りで地域の人へ声かけをお願いしている。(東小 PTA)</p> <p>⇒○MLS シニアが月に 1 回程度、街頭に立ち、見守り活動を実施。</p> <p>⇒□老人会(まどろみ会)であいさつ運動実施、子どもとの交流が広がっている。</p>	<p>校区全体</p> <p>中 小 PTA</p> <p>MLS</p>
	④子ども会のサポート体制の整備	<p>◇□子ども会のあり方を町全体で考えていくべき。</p> <p>◇子ども会と自治会合同のイベント実施を、学区の企画部と考えたい。</p> <p>◆子ども会役員は祖父母(お年寄り)にも可能ではないか。</p> <p>◆子ども会の役員の見直し、合同で出来る色々な取り組みをしていくことで役員の負担を減らしていく必要がある。</p> <p>◇自治会で健全育成委員を増員し、子ども会をサポートしたい。</p> <p>◆子ども会運営に自治会・地域づくりコーディネーター・祖父母・老人会など広く協力を求めていく。</p> <p>⇒◇◆自治会独自の健全育成会を作り子ども会行事を実施。(東本町 1・2 丁目)</p> <p>⇒◆ラジオ体操では老人会が子どもたちを見守ってくれた。(東本町 1 丁目)</p> <p>◆しゃがみが苦手な子が多く、それを苦にして子ども会をやめてしまう。しゃがみ会と子ども会は別々に活動した方がよい。</p>	<p>校区全体 自・小・子</p> <p>子</p> <p>自 各団体</p> <p>自・子 老</p>

	課題	担い手
	<p>⇒◆南二日町は南と東の学区に分かれているが、東学区の子ども会がなくなった。しゃぎりは学区は関係ないので、子ども会に代わるものになる。</p> <p>◆中高校生まで参加できるしゃぎり会または中高生グループを作っても楽しいのではないか。</p> <p>⇒◆中学生も大人のしゃぎり会に参加している。(東町)</p>	
高齢者	<p>①高齢者の見守り</p> <p>○自治会としてどうやって弱者の救済を行っていくかが最大の課題。</p> <p>⇒◇老人会役員が月々の集金時に見守りを実施。(まどろみ会)</p> <p>◇◆向こう三軒両隣、近所の見守りが重要。</p> <p>◇◆老人会・民生委員ほか、協力要請を広く求めていく。</p> <p>◆隣人に関心を持ってもらいたい。</p> <p>⇒◇近隣住人の知らせで孤独死を未然に防止できた。</p> <p>◇前会長が自治会ホームページ開設。高齢者にもホームページへ投稿してもらいたい。(東本町1丁目)</p> <p>◆イベントを開催しても人が集まらない。情報交換の場がほしい。</p> <p>○スポーツを通じて高齢者と交流できると良い。(スポーツ推進委員)</p> <p>□高齢者の見守りは、地域、組、向う三軒両隣が主体になる。組単位の見守りを推進する方法を考えるのが一番ではないか。</p> <p>□見守りを進めるには、外に出てくる場(サロン等)を作ることが必要。地域包括支援センターでは支援を行っている。声をあげてほしい。</p>	<p>自 老 校区全体 各団体 校区全体</p> <p>自</p>
	<p>②老人会の存続</p> <p>◇老人会も人数が減少している。イベント時に老人会をPRしたい。</p> <p>◇老人会のあり方も町全体で考えていくべき。</p> <p>⇒◇自治会の下部組織にすることで老人会を継続させた。(南二日町)</p> <p>◇老人会行事に子ども会も参加。今年もふれあい広場的なものをつくり、子ども達あるいは親、高齢者と一緒にやりたい。</p> <p>⇒●老人会も自治会行事に協力し参加者を募り交流を広げている。(まどろみ会)</p>	<p>老 校区全体 自 老・子 老</p>

■H26. 10. 02 テーマ別会議まとめ

テーマ

地域行事に**新たな参加者を増やす方法**を考えよう!!

- 「新たな参加者を増やす方法・アイデア」について、参加者全員のご意見・ご提案をまとめました。

新たな参加者とは誰か？

- 高齢者
- 共同住宅の人
- 若い人 など

★参加しない人に対しては
⇒なぜ来ないか「リサーチ」が必要!!



準備・企画段階
から工夫しよう



仲間・声かけ作戦

- ・日常におけるコミュニケーションの強化
- ・普段の会話から良い人間関係を作る。
- ・隣りあった校区・自治会・組は、両方参加OKにする。
- ・子ども会・老人会に参加してもらう。
- ・各会(団体)毎に参加人数の要請をする。
- ・集合住宅は管理人(班長)が一軒ずつ回る。
- ・個別の招待状を出す。
- ・一度来た参加者にその後も声かけをする。
(その後のフォロー)
- ・定会(組内会議)をやる
- ・リサーチを兼ね、自治会長の集会や積立を毎月やる。顔を合わせる。
- ・高齢者は意外と人見知り／好き嫌いあり

広報強化作戦

- ・行事開催をPR・公開する。
- ・行事のこともっと宣伝する。
- ・メルマガやHP作成(若い人向け)
- ・広報活動を活発化する(地域の防災訓練日が分かれば、中学校の部活は中止にしている)
- ・ありきたりの回覧版で済ますのではなく、今流行の漫画、絵文字をカラーでおもしろく回覧紙を作成してみたらどうか。
- ・中心の行事(特に防災訓練)に合わせ、他行事への参加をPRする。
- ・町内の小中学生から町内会へ要請させる。

役割分担作戦

- ・役があると参加する。(短い時間でも良い)
- ・何でもいいから役を頼む。(中学生・高校生)
- ・役割分担を細かく明確に多くの人に。
- ・企画書を多くする。(企画段階から参加多数)
- ・企画の段階で各団体に参加してもらう。

プログラム内容を工夫しよう

アメ玉作戦

- ・景品／お土産をたくさん用意する。(ごほうび／奥さんの喜ぶプレゼント)
- ・プレゼント、子供は子供に、大人は大人に。
- ・やっぱりPRとプレゼント作戦
- ・補助金をたくさんくれれば・・・。
- ・アメを用いる。
- ・簡単な保存食の作り方と試食会(防災訓練)
- ・抽選会(お金がかかるけど・・・)

楽しい防災訓練

- ・子供たちも喜んで参加する楽しい防災訓練にする。(バケツリレーなど)
- ・子ども会とタイアップし、的当て訓練実施。
(例年子供の参加 60 名→今年 125 名)

防災意識 UP 作戦他

- ・被災地の方の防災体験と意見交換。
- ・新たな参加予定者に
 - ①防災のためだとハッキリ伝える。
 - ②どうしたら来てくれるか聞いてしまう。
- ・防災訓練を市で統一してほしい(中学生の参加が増加する)大会がある時は部活を中止できない。

子ども向け作戦

- ・子供主役で大人も多数参加作戦。
- ・子供の参加を増やす方法を考える。
- ・中学校との情報共有
- ・子供が地域を活性化する。(あいさつなど、子供から地域に貢献)

校区祭・種目工夫作戦

- ・今までにやっていない新しい項目を追加する。
(例:「健康体操のやり方」指導)
- ・魅力的な種目を増やす。(例:野菜のつかみどり／人生航路リレー／昔の思い出競争(高齢者のため))
- ・町内会単位で参加できる種目をつくる。
- ・校区祭で高齢者に来てもらうために、町内対抗「長寿！年齢たし算」という種目を作る。
- ・有名なスポーツ選手等を招待して、一緒に競技の機会を作る。

その他(新しい試み)

- ・自治会行事の中で多くの人が気軽に参加できることを企画する。
- ・新イベント、やり方を工夫する。
- ・イベントマップ(広域)を作って、外からの見学者(参加者)に地域内の方へ声掛けがされて一緒に参加できるキッカケとする。
- ・協議会へ発展したら託児コーナーを設置。
- ・いいところを見つけてみよう。

補足資料

きずなづくりトークの意見まとめ

これまでの「きずなづくりトーク」で皆さんから出していただいた地域の現況・課題を整理しました。

※平成 23～26 年度 東小学校区きずなづくりトーク参加団体一覧

自治（町内）会	各種団体	子ども関係
雪沢自治会 大宮町 2 丁目自治会 大社町自治会 東町自治会 東本町 1 丁目自治会 東本町 2 丁目自治会 南二日町自治会 日の出町自治会	環境美化推進員会 保健委員会 民生委員児童委員協議会 いきいき友の会 エコリーダー 地域づくりコーディネーター 地域包括支援センター	東幼稚園 P T A 加茂川町保育園 東小学校 東小 P T A 南中学校 南中学校 P T A 南中 M L S ・おやじの会 白鳩三つ葉子ども会 大社町子ども会
老人クラブ	商店振興会	スポーツ関係
コスモスの会 大社町きずなの会 東町寿会 東本町友和会 日の出会 まどろみ会	大社町商工振興会 大社前商店会 東本町 2 丁目商工振興会	スポーツ推進委員会 体育指導員会 東小学校区体育振興会 体育振興会

（平成 2 3 年度は「地域づくり市民会議」の名称で開催しています）

凡例（各意見に印をつけて、いつ出された意見かわかるようにしています）

- △：H23.06.03 テーマ「1 地域の防災力向上と被災時の対応」
「2 高齢者から子どもまで多世代の交流による活性化」
- ▲：H23.10.12 テーマ「1 地域の防災力向上と絆づくり～前会の議論を受けて～」
「2 ごみ問題と美しい地域づくり」
- ：H24.06.05 テーマ「みんなでふれあい創出」
- ：H24.11.15 テーマ「地域の防災力～みんなで何ができるか考えよう～」
- ◇：H25.05.21 テーマ「子どもの健全育成と高齢者が安心できる地域づくりについて」
- ◆：H25.10.07 テーマ「子どもの健全育成と高齢者が安心できる地域づくりについて」
- ：H26.05.20 テーマ「防災訓練」「子どもの健全育成」「高齢者の見守り」
- ：H26.10.02 過去の意見等を参考に関心の高いテーマに絞り、話し合いました。
テーマ「地域行事に新たな参加者を増やす方法を考えよう」（P6-7 掲載）
- ◎：市の意見・回答

(※担い手略称 体振会：体育振興会、地域CN：地域づくりコーディネーター、スポ推委：スポーツ推進委員)

	現況	課題	担い手	結果・実績
1. 防災訓練				
	① 住民の参加促進と訓練内容			
	<ul style="list-style-type: none"> ●9/2 炊き出し、消火器、可搬ポンプ(女性対象)、橋が壊れた想定をして避難誘導訓練実施。参加者は年々減少している。(雪沢) ●9月 起震車、消火訓練、AED、発電機(主婦中心)訓練実施。参加者60名。消火器の設置場所を確認した。(南二日町) ●9/30 起震車・AED訓練実施。町内750名中424名参加。年々増加している。町内独自で1次避難所を20か所設置。各避難所に女性のリーダーを置いている。避難所に来てくれない場合はリーダーが安否確認に行く。(大宮町2丁目) ●9月 第2日曜に訓練実施。各組で避難路を書いて集合し問題点を把握。集合に30分かかった。住民の防災意識の向上につながったと思う。300人ほど参加。(東本町2丁目) ●10/28 消火、簡易担架、三角巾訓練、町内・校区の防災倉庫と避難所の非常用物資の見学実施。(東町) ●11/11 炊き出し、救護訓練実施。役員は事前に講習を受講し当日参加者に指導した。参加者130名中、小中学生は10名。(日の出町) ●11/11、1箇所に集まるのではなく町内7区で訓練実施。炊き出し・担架搬送・災害弱者の確認実施。初期消火が大事なので、必ず水消火器20本用意している。(大社町) ●子どもも参加するよう事前に声をかけたので、前回より参加人数が多かった。(大社町) ●学校外で災害が発生した場合の保護者の訓練ができない状態。(大社町) 	<ul style="list-style-type: none"> ●町内の8割がアパートだが、参加者は持家の方が多い。アパート住民の参加方法を考えたい。(雪沢) ◆訓練参加者増加が課題。(雪沢、南二日町) ●係が分かる腕章と「黄色いハンカチ」を来年購入し活用したい。(大宮町2丁目) ●中学生以上は水消火器をやりたがらない。訓練のゲーム形式も考え、小中学生の参加を促したい。(日の出町) ●学校外で災害が発生した場合の対応を考える必要がある。 ●中学生の父親の多くが子どもの避難場所を知らない。父親の防災意識向上が必要。 ●乳幼児のいる家庭は災害時の行動把握ができていないか疑問。 ●訓練時から乳幼児家庭への配慮が必要。 ●起震車を使用できるようなルールを作ったらどうか。 ◎起震車は東部に1台のみ。早めに申し込みをしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 自治会 自治会 自治会 自治会 自治会 	<ul style="list-style-type: none"> ⇒●平日昼間に地域にいる可能性の高い主婦対象に防災機器の練習実施。 ⇒●各1次避難所に女性リーダーを配置。安否確認実施。 ⇒●各組で避難路を確認し、問題点を把握。防災意識向上を図った。 ⇒●役員が事前講習を受講し参加者を指導。 ⇒●事前に子どもに参加を呼びかけ参加増加。
	<ul style="list-style-type: none"> ●乳幼児のいる家庭はほぼ不参加。(大社町) ●乳幼児連れだと子どもの世話をする場所がなく訓練に参加しにくい。 ●11/18、担架、消火器、バケツリレー訓練実施。起震車は人気があって予約できなかった。(東本町1丁目) 			

現況	課題	担い手	結果・実績
<p>□マンネリ化している。 □だいたい来る方は毎年同じ人。</p> <p>□防災講座で行った賞味期限の近い備蓄品の「試食会」が好評だった。</p>	<p>□皆が参加したくなるようなアイデアがない。何度も行う防災機器の点検などに、人が集まる工夫を知りたい。</p>	<p>自治会</p>	<p>⇒□賞味期限の近い備蓄品で試食会実施。好評だった。</p>
②災害への備えと体制強化			
<p>△避難経路の道路や橋が寸断されてしまったら、どうしたらいいのか。(雪沢、富士見台、沢地、千枚原、富士ビレッジ、山中)</p> <p>◎一次避難所や公民館、広域避難場所に避難してほしい。</p> <p>△大社境内は防災拠点になりうるのか。</p> <p>◎防災拠点として資機材等の未整備、市で施設利用出来ないのでは、現状では防災拠点にはなれない。</p> <p>○防災訓練で使うために購入した設備を年1度しか使わないのはどうか。</p> <p>●月1回、可搬ポンプの点検実施。(大社町)</p> <p>●年6回、関係者で集まり防災倉庫や消火器の点検実施。(東本町1丁目)</p> <p>●奇数月に防災倉庫点検を実施。(東本町2丁目)</p>	<p>○救命講習を受けて AED 等を使えるようにしてほしい。自分たちのことは自分たちで守る意識が大事。</p> <p>○防災設備は使わないと使えるようにならず、さびついて駄目になってしまう。動かすことが大事。(消防団)</p>		
<p>●自治・防災会長を兼任しているが、防災役員が毎年替わり苦労した。</p> <p>●起きてしまったことにいかに対応できるかという事を考えている。</p> <p>●防災センター視察。役員の意識向上につながる。バスの中で交流できたのがよかった。(日の出町)</p> <p>●自治会行事に参加した防災に関心のある女性に企画部に入ってもらった。アドバイスをもらう予定。(南二日町)</p> <p>◇市の防災組織説明会で、避難所単位の防災訓練を実施する方向で進めたいという話があった。</p> <p>□3～5年の任期を設けた「選任防災委員」を作った。町内のことがよくわかり、コミュニケーションが取れる。(東本町1丁目)</p> <p>□防災委員と町内を回ったが、町内を把握できて良かった。</p>	<p>●防災委員長の再任等で効率良く運営したい。</p> <p>●防災より減災。自助・共助・公助が大事。(大社町)</p> <p>●年1回家族写真を携帯に保存しておく震災後に家族を探すとき役立つ。またライトストラップなどグッズを活用するといいい。</p> <p>◇各自治会単位の訓練はそれぞれ計画している。話し合いが必要。</p> <p>□防災委員と町内を見回るシステムを取り入れるといいのではないかと。</p>	<p>自治会 校区全体 自治会</p>	<p>⇒□専任防災委員(任期3～5年)システムを構築。(東本町1丁目)</p>
③要援護者の支援			
<p>○高齢者が増えて、支援が難しくなっている。(民生委員)</p> <p>●◇要援護者約50名中、訓練参加は数名。(大宮町2丁目)</p> <p>●要援護者の訓練参加はなかった。足腰が悪い高齢者・要援護者の参加は難しい。(東本町2丁目)</p>	<p>○自治会と民生委員で日頃から話し合い災害時の対策を考えたい。</p> <p>○要援護者のリストをどう扱い活用するかが課題。</p> <p>●実際震災があった時、どう対応すればよいかわからない。</p> <p>●足腰が悪い要援護者が訓練参加できるような対策が必要。</p>		

現況	課題	担い手	結果・実績
<ul style="list-style-type: none"> ●防災委員が訓練中に高齢者を訪問し声かけ実施。その際ペットボトルの水を提供した。(大社町) ●要援護者の手助けをできる人がどの程度いるか、平日昼間の在宅者調査実施。(日の出町) ●自治会員の家族調査実施。災害時、要援護者の該当者以外で要望があるか調査した。(日の出町) ●笛は要援護者が吹いて外まで聞こえるか疑問。 	<ul style="list-style-type: none"> ●笛をもっと吹きやすくなるよう改良できないか。 	<p>自治会</p>	<p>⇒●訓練中に防災委員が高齢者を訪問、声かけ実施。水を提供。</p> <p>⇒●平日昼の在宅者調査、自治会員の家族調査実施。</p>
④学校と地域の連携			
<ul style="list-style-type: none"> ●中学生が一番戦力になると思う。中学生は学区内にいる。 ●今年は参加証を持たせた。参加した生徒は町内の人にサインをもらって学校に報告する。(南中) ◆参加した子ども達は、消防の放水訓練や消火訓練など一生懸命やっている。 ◆25年度、防災訓練で初めて中学生3名参加。参加証書の学校提出は効果的。(雪沢) 	<ul style="list-style-type: none"> ●もっと中学生に協力してもらいたい。 ●地域の役割を担える中学生を育てていかななくてはならない。 ○参加した中学生には、ポンプや消火器の使い方を教えてほしい。 ◆防災訓練参加証明書など地域貢献を認めるご褒美的なものも必要。 	<p>中学校</p>	<p>⇒●参加証を持たせ、町内の方のサインをもらう。</p> <p>⇒◆訓練に中学生が初めて3名参加。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ●◇地区の訓練実施日が異なり部活動の調整が難しく、中学生が訓練に参加できない。(南中) 	<ul style="list-style-type: none"> ●◇◆全市内、同日防災訓練実施だと中学生も参加しやすい。最初は小学校区単位で訓練日を揃えるよう検討してほしい。 ◆各自治会にスケジュール調整役を置くといい。 		
<ul style="list-style-type: none"> ▲東小が避難場所になっているが、バリアフリートイレもなく車椅子の方だと避難は厳しい。 ◇◆□東小では昨年、「イザカエルキャラバン」を実施(PTA 主催)。子どもが中心なので訓練としては幼稚な部分もあるが、300～400人の子どもと保護者が参加。 □「イザカエルキャラバン」の計画段階で、町内を超え年配者に昔の遊びを教えてほしいという意見もあった。お祭りのようにして、皆が触れ合う機会にすれば楽しいのではないか。 ◆起震車やスモークハウスがなくても参加者が楽しめる防災訓練は可能。父親と一緒に防災ゲームや、防災2チームで様々な容器を使ってのバケツリレーなどを楽しんでいた。 □登下校や1人で家にいた時等、様々な状況で災害は発生する。様々な状況を想定した訓練に参加できる環境でないといけない 	<ul style="list-style-type: none"> ▲東小を避難場所にするのならバリアフリーの整備をするべき。南中は整備されている。 ◇防災フェスティバルに自治会役員も参加してほしい。 ◆合同の防災訓練に楽しみながら取り組めば、かなりの子ども達が参加するのではないか。 □子どもは訓練に参加することで防災意識が育ち、保護者も訓練に関わることができる。高齢者との触れ合いも交えていくと、面白いイベントになる。 	<p>小 PTA</p> <p>校区全体</p>	<p>⇒◆東小で防災フェスティバル実施。各小学校から児童多数参加。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ▲幼稚園児の避難は危険。東幼稚園では障がい児も受け入れており先生方も手一杯。 ●幼小中学校が隣接している。幼小中で引き取り訓練実施。(南中) ●年1回、中学生が幼稚園の避難訓練に参加し園児を誘導するなど連携がとられている。 ●災害時、保護者が引き取りに来るまで小学校で子ども達を預かっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ▲災害時パニックに陥った幼稚園児をどうまとめていくのか。(東幼稚園) ●引き取りに來られなかった場合に備え、学校での宿泊体制が必要。(東小) 	<p>幼稚園 小学校 中学校</p>	<p>⇒●幼小中で引取り訓練実施。連携あり</p> <p>⇒●年1回中学生が園の訓練に参加し、園児を避難誘導する。</p>

	現況	課題	担い手	結果・実績
2. 子どもの健全育成				
①地域活動への参加促進				
	<p>●東小学校区は子どもが 400 人弱しかいない上、子ども会に入っていない子もいる。(体育振興会)</p> <p>◇子どもが減少し、地域の健全育成事業の参加者も少ない。(東町)</p> <p>◇東部自治会連合や体育振興会等、ほぼ毎月イベント実施。回覧版等で参加を呼びかけている。(大宮町2丁目)</p> <p>◆東小校区で一番子ども数が多い。子どもが好きなイベントを行えば子どもは参加する。(東本町1丁目)</p> <p>◇ドッジボール大会では子どもの数が減り、町内によってはチームが成り立たない。学年の偏りもかなりある。</p> <p>◇先日小学校区のドッジボール大会があったが、日の出町だけではチームが作れず川原ヶ谷町と一緒にチームを作った。(日の出町)</p> <p>◆25 年度の校区祭で、初めて2町合同4チームで子どもリレー実施。子どもの多い町内と少ない町内が合体し、子ども会会長がリレー選手を選出するなど運営側が工夫した。(スポーツ推進委員)</p> <p>◆各町内単位だと子どもは少ないが、運動会などで同じ学校の子と町内を越えて会えると楽しめる。</p> <p>◆楽寿園を使用した親子で楽しむイベントで、昨年は 270～280 人と小学生以下の参加が大変多くなった。他町からの参加もある。(南二日町)</p> <p>□中学生になった途端に子ども会もしゃざり会も抜けてしまい、地域と中学生の結びつきがない。しゃざり保存会の会長と「中学生になってもしゃざりを続ける」など、少子化のことも含め対策を話し合った。</p>	<p>◆広い枠組みで子どもが参加できるサークル等があればいい。</p> <p>◆町内の子ども数は少なく正確な人数もつかめていない。子どもの名簿がほしい。(雪沢)</p> <p>◆子どもが楽しめるイベントを考えるのに、子ども会や学校の協力を得ていくといい。</p> <p>◇町内合同チームが出来ていいのではないか。自治会長や子ども会会長達と色々知恵を出し合ってほしい。</p> <p>◆各町内単位の優勝争いも見直すベきかもしれない。</p> <p>◆一日かかる行事はやめて半日で終わらせ参加しやすくするなどの対策が考えられる。</p> <p>◆幼稚園や小学校からもイベント参加を呼びかけてほしい。</p> <p>□日常的な地域との関わりを中学生レベルでどうするかが大事。</p>	<p>自治会</p> <p>自治会 子ども会</p> <p>体育会</p>	<p>⇒◇ドッジボール大会で他町合同チーム結成。</p> <p>⇒◆校区祭で初めて2町合同チームによるリレー実施。</p> <p>⇒◆楽寿園で親子イベント実施。他町からも多数参加。</p>
	◇公園の遊具が老朽化し撤去された。(日の出町)	◇子どもを安心して遊ばせられる場所がほしい。		
②学校と地域の連携				
	<p>●◇できる限り地域行事への参加を呼びかけている。子どもたちが地域の活動に参加したことは学校でも把握している。(東小)</p> <p>◆部活動は地域活動と両立のため、土日どちらかにするよう指導。(南中)</p> <p>◆保育園に中学生が職業体験でボランティアに来てくれる。大変いいふれあいの機会になっている。(加茂川町保育園)</p>	<p>◇子どもが地域行事に参加したらほめてあげてほしい。</p> <p>◆中学生のボランティア活動も活発化させていきたい。</p> <p>◆保育園児と中学生などの地域の子どもがふれあう機会が多くあるといい。</p>	<p>保育園 中学生</p>	
	<p>○南中では 2002 年からMLS活動が行われている。地域と学校が協力して安全な学区を作ろうという活動。</p> <p>○最近の子どもは外で遊んでいないのではないかと。遊ぶ場所がないこと、時間がないことが原因だと思う。</p> <p>◆東小おやじの会では活発な活動を行なっている。小学生は学校でのイベントだと参加しやすい。</p> <p>◆中高生は友達と参加するのが一番いい。</p>	<p>○南中におやじの会を立ち上げてほしいという話があったのでMLSの再構築と合わせて取り組んでいきたい。</p> <p>○小学校で体を動かすイベント開催を校長たちと協議中。(東小 PTA)</p> <p>◆中高生が行事に参加しやすい環境を整えることが大事。</p>		

現況	課題	担い手	結果・実績
③挨拶の促進			
<p>○声かけ運動のバッチをしているが見てもらえず、声かけをやめてしまった。</p> <p>○子どもに声をかけてくれるのはありがたいことだが、世の中が物騒になっているので警戒してしまう。(白鳩三つ葉子ども会)</p> <p>○3校区で連携し挨拶運動実施。南中は県から挨拶運動推進校の認定を受けている。</p> <p>○MLSシニアを構築し、月に1回程度、地域の代表者や活動への賛同者に街頭に立ってもらって活動実施。</p> <p>●静岡銀行のバックアップで、東小・南小・西小の南中校区で「あいさつ声かけ運動」の指定を受けている。</p> <p>○□毎週当番制で PTA の方があいさつ運動実施。学校便りを通して地域の人に声かけをお願いしている。継続してきたこともあり、かなりの子があいさつをするようになってきている。</p> <p>□まどろみ会では、「県が推進しているあいさつ運動を率先してやろう」ということで、今年3月からクラブ会員の半数36名が登下校時に家の前に立ち、子どもや年配者に声かけ実施。慣れてきたら子ども達からあいさつや声かけがあり、皆喜んでいて。</p> <p>□スクールガードでは、学校近隣の町内の皆さんに曜日だけ決めて、自由に自分の意志でやってもらっている。</p> <p>□ラジオ体操はあいさつ運動にもつながっている。朝子どもたちに会うと「体操のおじさん」と顔を覚えてくれていて、あいさつをしてくれる。</p>	<p>○散歩中に子どもに声かけすると不審者だと思われる。対策が必要。</p> <p>○声をかけられる雰囲気作りは継続しないとなくなってしまう。どうすればいいのかわかるか。</p> <p>□あいさつを継続すれば、子どもも大人もあいさつする。</p> <p>□時間と場所を決めて行えば、不審者と思われることもなく、あいさつの習慣がお互いにできてくる。</p> <p>□スクールガードの顔写真が学校に貼り出されているので、子ども達は顔がわかっていると思う。もう少し大きい組織にしていきたい。</p> <p>□ラジオ体操など人の集まる場にいろいろな人が参加してくれれば、自然と交流ができてくる。</p>	<p>中学校</p> <p>小PTA</p> <p>老人会</p>	<p>⇒○県から挨拶運動推進校として認定。</p> <p>⇒○MLS シニアが見守り活動実施。</p> <p>⇒○PTA が当番制で挨拶運動実施。</p> <p>⇒□老人会であいさつ運動→子どもとの交流が広がる。</p>
④子ども会のサポート体制の整備			
<p>◇◆働く親の増加、少子化により、子ども会行事への親の参加が負担。会の存続が難しい。(大社町子ども会)</p> <p>◇東学区子ども会は消滅し、現在は南学区の子ども会のみ。(南二日町)</p> <p>◇子ども会の人数が減少し、会の運営が大変。(日の出町)</p> <p>◆今後入学する子どもの数は毎年およそ60～70で推移する。子どもの数が減り、子ども会の存続は大変になっている。(東小)</p> <p>◇◆自治会独自の健全育成会を作り、毎年子ども会と行事実施。(東本町1丁目、東本町2丁目)</p> <p>◆□東本町1丁目では、老人会と自治会が色々な行事で子ども会を応援している。夏休みのラジオ体操では老人会が1ヶ月間子どもを見たケースがあった。</p> <p>□子ども会入会者が激減している。入っても1年でやめてしまう。役員が大変で敬遠されている。いつまで子ども会が存続できるのかと役員で話し合っている。</p>	<p>◇子ども会のあり方を町全体で考えていくべき。</p> <p>◇子ども会と自治会合同のイベント実施を、学区の企画部と一緒に考えていきたい。</p> <p>◆子ども会役員は祖父母(お年寄り)にも可能ではないか。</p> <p>◆役員を選出方法を見直し、合同で出来る色々な取組をしていくことで、役員の負担を減らしていく必要がある。</p> <p>◇自治会で健全育成委員を増員し、子ども会をサポートしていきたい。</p> <p>◆子ども会運営に自治会・地域づくりコーディネーター・祖父母・老人会など、広く協力を求めていく。</p> <p>□子ども会役員を助けてあげるような活動を始めれば、何かいいアイデアが出てくると思う。子ども会が存続できるような知恵はないか。</p>	<p>校区全体</p> <p>自治会 子ども会 小学校</p> <p>子ども会</p> <p>自治会 老人会 子ども会</p> <p>自治会 地域CN 老人会 他</p>	<p>⇒◇◆子ども会と健全育成会が行事実施。</p> <p>⇒◆ラジオ体操では老人会が子どもを見守ってくれた。</p>
<p>◆しゃがりが苦手な子どもが多く、それを苦にして子ども会をやめてしまう。</p> <p>◆南二日町は南学区と東学区に分かれているが、東学区の子ども会がなくなった。しゃがりは学区は関係ないので、子ども会に代わるも</p>	<p>◆しゃがり会と子ども会は、別々に活動した方がよい。</p>		<p>⇒◆しゃがりが子ども会に代わるものになる。</p>

	現況	課題	担い手	結果・実績
	<p>のになる。町内行事はしゃぎり会、子ども会に声をかけている。(南二日町)</p> <p>◆しゃぎり会は大人・老人ばかりで雰囲気が違う。</p> <p>◆東町では子ども会としゃぎり会は別組織。大人のしゃぎり会に中学生が参加し、しゃぎり会を継続している。</p>	<p>◆中高生まで参加できるしゃぎり会、または中高生のグループを作っても楽しいのではないか。</p>		<p>⇒◆中学生も大人のしゃぎり会に参加。</p>
3. 高齢者				
①高齢者の見守り				
	<p>○□民生委員、自治会だけでは孤立者の面倒を見きれない。</p> <p>◇役員が元気が確認をしながら月々500円集金している。(まどろみ会)</p> <p>◇町内で孤独死が発生している。(大社町、東本町1丁目、日の出町)</p> <p>◇近隣住人の知らせにより、病院に搬送した後、亡くなる事例があった。なんとか孤独死を防ぐことができた。(民生委員)</p> <p>◆一人暮らしの男性高齢者や、夫婦二人暮らしでも一人が要介護の高齢世帯などはたいへん危ない。</p> <p>◇町内を歩いてなるべく話しかけるようにしている。(大宮町2丁目)</p> <p>◆敬老会や親睦会を実施しているがなかなか人数が集まらないのが現状。マンションが多い町内なので、まだ輪が出来ていない。(雪沢)</p> <p>□組13軒のうち、4軒が一人暮らし。組を抜けた世帯もあり、状況が分からない。</p> <p>□サロンを作りたいが場所がないとよく聞く。自治会と相談しながら活動していけば、活発に集まる場所ができると思う。</p>	<p>○自治会としてどうやって弱者の救済を行っていくかが最大の課題。(東本町1丁目)</p> <p>◇◆向こう三軒両隣、近所の見守りが重要。</p> <p>◇◆老人会・民生委員ほか、協力要請を広く求めていく。</p> <p>◆隣人に関心を持ってもらいたい。</p> <p>◇前会長が自治会ホームページ開設。高齢者にもホームページへ投稿してもらいたい。(東本町1丁目)</p> <p>◆イベント等の情報交換の場がほしい。</p> <p>○スポーツを通じて高齢者と交流できると良い。(スポーツ推進委員)</p> <p>□高齢者の見守りは、組単位の見守りを推進する方法を考えるのが一番ではないか。</p> <p>□見守りを進めるには、外に出てくる場(サロン等)を作ることが必要。地域包括支援センターでは支援を行っている。声をあげてほしい。</p>	<p>自治会</p> <p>老人会</p> <p>校区全体</p> <p>老人会民生委員</p> <p>スポ推委</p>	<p>⇒◇老人会役員が集金時に見守り実施。</p> <p>⇒◇近隣住人の知らせで孤独死を未然に防止。</p>
②老人会の存続				
	<p>◇自治会の行事には協力を惜みず参加し、参加者を募りきずなを広げている。(まどろみ会)</p> <p>◇市に登録した老人会はなくなった。今年から老人会を自治会の下部組織とした。(南二日町)</p> <p>◇老人会のイベントに子ども会も参加し好評だった。(大社町きずな会)</p> <p>◇老人会活動が高齢者の見守りにもつながる。</p>	<p>◇老人会も人数が減少している。イベント時に老人会をPRし参加を募りたい。</p> <p>◇老人会のあり方も町全体で考えていくべき。</p> <p>◇今年もふれあい広場的なものをつくり、子ども達あるいは親、高齢者と一緒にやりたい。</p>	<p>自治会</p> <p>校区全体</p>	<p>⇒◇老人会も自治会行事に協力参加。</p> <p>⇒◇自治会の下部組織にすることで老人会を継続させた。</p>